

# 喜堂

スタートは由比ヶ浜。この海から若宮大路は始まっている。鶴岡八幡宮の参道であるから、ここから歩くことにした。一の鳥居は道の真ん中にあり近づくこともできない。二の鳥居から段葛になる。ひたすら歩いた。鶴岡八幡宮は、それなりの人出であった。舞殿では結婚式が執り行われていた。源頼朝が、現在の地に遷したのだが、建物は江戸時代の造営されたものである。

本殿参拝の後、大蔵幕府跡へ向かう。大蔵御所は源頼朝が一一八〇年に鶴岡八幡宮の東側にある大蔵郷に建てた館である。頼朝、頼家、実朝と続き、北条政子が亡くなるまでの四六年間、この地が鎌倉幕府の中心であった。現在は清泉小学校になっており、「大蔵幕府旧跡」の碑が建っているのみである。昼食の後、建長寺と円覚寺へ向かう。建長寺は鎌倉幕府五代執権・北条時頼が建立した。開山は蘭溪道隆である。円覚寺は開基が八代執権・北条時宗、開山は無学祖元（仏光国師）である。

小雨模様になった。源実朝暗殺によって源氏の将軍がとだえ、北条の時代になると、北条義時邸（仮御所）に始まり、宇津宮辻子幕府、若宮大路幕府と、短期間で移転している。それを辿ってみることにした。

「宇津宮辻子幕府跡」の碑は宇都宮稲荷神社の脇に建てられている。宇都宮稲荷神社は、宇都宮朝綱に勧請されたといわれる。宇津宮辻子幕府の一角に宇都宮稲荷神社が祀られていたのだろう。わずか十一年間、ここが政治の中心になった。「若宮大路幕府跡」の碑は旧大佛次郎茶亭の近くにあった。旧大佛次郎茶亭は市指定の景観重要建築物で、作家の大佛次郎が鎌倉文士らとの交流などに活用したところだ。

KOはくど

武英M

